

コーポレート・ガバナンスとCSR

経営管理組織の主な状況

日本テレビは監査役会設置会社です。取締役会は、全16名のうち6名を社外取締役とし、監査役会は、全4名のうち3名を社外監査役としています。

取締役会の下に、業務執行全体について監督する機関として、内部統制委員会を設けています。また、取締役会に報酬委員会を任意に設置し、取締役の報酬に関して取締役会からの諮問に答申するなどしています。さらに、コンプライアンス委員会を設置し、あらゆる法令及び諸規則の遵守、透明性の高い企業活動の推進に努めています。

業務執行・監視の仕組みについては、執行役員制度を導入して権限委譲を行い、迅速な意思決定及び業務執行責任の明確化を図るとともに、取締役会及び監査役・監査役会による監督・監査体制をとっています。

コーポレート・ガバナンスに関する

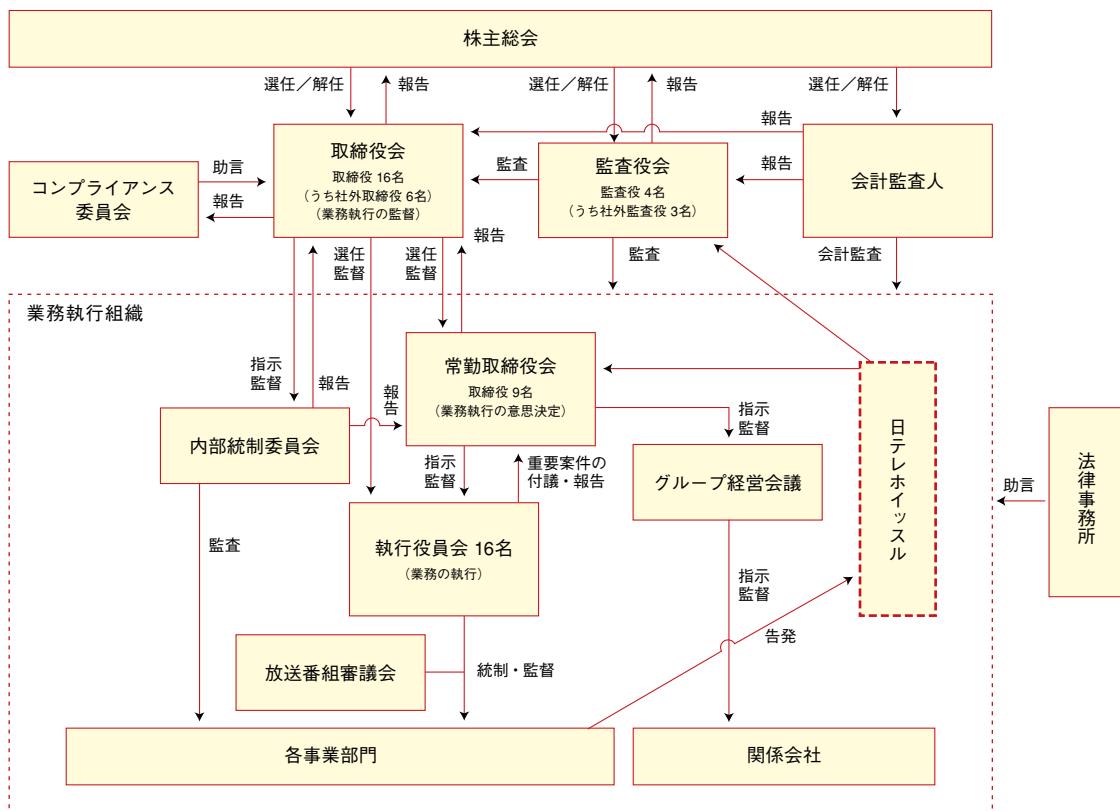
最近1年間における実施状況

2006年6月の株主総会において社外取締役が1名増え
て取締役全16名のうち6名が社外取締役となるとともに、
取締役の任期を2年から1年に変更し、経営の更なる透明性
確保に努めました。

個人情報保護法が2005年4月から施行されましたが、日本テレビではそれ以前から規定の整備等を推進しており、施行以降も社員や協力スタッフへの研修や監査計画に基づく各部署への監査等を着実に実施し、適正な個人情報の取扱いに努めています。

日本テレビは、環境と社会への配慮を組み込んだ企業経営「日テレ・サステナビリティ」に取り組み、地球と社会、そして企業の持続可能な発展を目指しています。その一環として、日本テレビは「地球環境の破壊防止」について

ヨーポレート・ガバナンス模式図



メディア企業のリーダーとして社会的責任を強く認識し、環境保全活動「日テレ・エコ」を積極的に展開してきました。これに加え、2005年11月には在京民放キー局の全社規模としては初めて、日本テレビタワー（東京・港区）におけるISO（国際標準化機構）の環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の認証を取得しました。

一方、企業の情報セキュリティ管理を確立するために、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO27001（ISMS）」を2006年4月にIT推進室部門において取得しました。

このほか、コンプライアンス強化の一環として2006年4月に「インサイダー取引防止規定」の見直しを図り、「自社株取引の事前届出制度」や「取引先・取材先等株式の短期売買の原則禁止」の項目を新たに定めました。役職員やグループ従業員等への研修も実施し、意識の徹底を図っています。

FTSE4Good インデックスシリーズ構成銘柄に 3年連続選定

日本テレビは2006年3月、イギリスの投資指標開発会社、FTSE インターナショナル社の社会的責任投資指標であ

る「FTSE4Good インデックスシリーズ」の構成銘柄に選定されました。2004年から3年連続の選定であり、日本テレビの環境・社会貢献活動が国際的に評価されていることを示しています。日本テレビのエコ事務局を中心とした環境配慮への取り組み、エコ・ウイークエンドなどの放送や活動、24時間テレビを通じた福祉や環境活動、世界的文化遺産の保存・保護活動、日本テレビ系列 愛の小鳩事業団を通じた社会貢献活動などが国際的に評価されました。

企業の社会的責任への取り組み姿勢

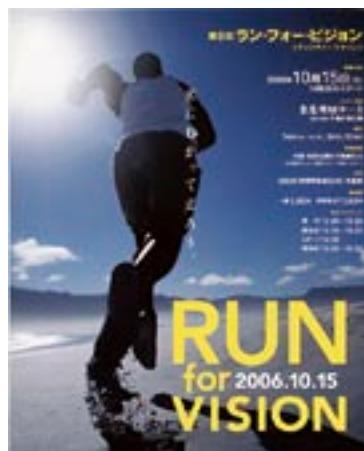
「日テレ・サステナビリティ基本方針」を定め、全てのステークホルダーに対し、持続可能な企業価値向上と社会貢献について規定しています。

「日テレ・エコ委員会」及び「日テレ・エコ事務局」は、環境保全活動、CSR活動の中心的役割を担っています。地球温暖化対策として環境省が推進する「チーム・マイナス6%」に積極的に参加しています。

「コンプライアンス憲章」の行動憲章では、企業情報の開示項目として「国民・社会が正当に必要としている情報を適時に適切に開示し、公正で透明な企業活動を行う」と規定しています。



「24時間テレビ」



「ラン・フォー・ビジョン」は角膜移植及びアイバンク活動への理解を啓発するために開催するチャリティ・マラソン大会です。財団法人日本テレビ系列 愛の小鳩事業団はこの大会の後援をしています。



FTSE4Good

「FTSE4Good インデックスシリーズ」の構成銘柄に3年連続の選定

CSRの具体的な活動

日本テレビならではの番組を通じた社会貢献活動として、2006年8月26日～27日に「絆～今、私たちにできること～」をテーマに24時間テレビの放送を行いました。視聴者の皆様から寄せられる募金と、番組の趣旨に賛同される企業、そして国内最大のネットワークを誇る日本テレビ系列各局の協力を得て、24時間テレビは今年で29回目を迎えました。「愛は地球を救う」という理念に基づいて皆様から集められた募金は「24時間テレビ」チャリティー委員会を通じ、「福祉」「環境」「災害支援」の3つの分野で役立てています。これまでに7,673台の福祉車両を贈呈したほか、国内外の災害の復興活動に寄附しています。最近では2005年1月にスマトラ島沖地震へ、10月にパキスタン北部地震へ、2006年6月にジャワ島中部地震へそれぞれ義援金を送りました。

24時間テレビではこのほかに、次のような環境支援活動も行っています。

〈琵琶湖の清掃活動〉

2006年7月9日、びわ湖岸の一斉清掃「びわ湖プロジェクト」を今年度より新たに始めました。総勢650人のボランティアが参加し、トラック16台分の流木とゴミ4トンを清掃しました。

〈富士山の不法投棄清掃活動〉

2006年7月30日、「24時間テレビ」チャリティー委員会が中心となって富士山の不法投棄清掃活動を行いました。3回目の今年はおよそ1,000人のボランティアが参加し、富士山麓で合計26トンのゴミを回収しました。富士山のゴミを拾う模様を広く情報発信することによって、日本中にゴミを捨てない心、環境問題への意識の大切さを広く呼びかけました。

また、日本テレビでは、若い世代に夢のある美しい地球を残すため、エコ活動へ積極的に取り組んでいます。毎年世界環境デーである6月5日にあわせて、「日テレECO ウィークエンド」キャンペーンを開催しています。2006年は「ロハス(LOHAS)」を統一テーマに特別番組やイベントを通じて、楽しいエコロジーを広く呼びかけました。



「24時間テレビ」の募金活動



「びわ湖プロジェクト」



富士山の不法投棄清掃活動